

Media Times

メディアタイムズ

ヘイトの指摘 放送姿勢は

MX幹部「チェック不十分」

沖縄の米軍基地反対運動を取り上げた東京メトロポリタンテレビジョン（MXテレビ）の番組が、波紋を広げている。人種差別的な発言や歪曲があったとする批判に対し、制作会社が問題はないとの見解を公表。一方で、番組の内容を問題視して放送を取りやめた地方局もある。MXテレビ幹部は、チェックが不十分だったと認めた。

制作会社「問題なし」

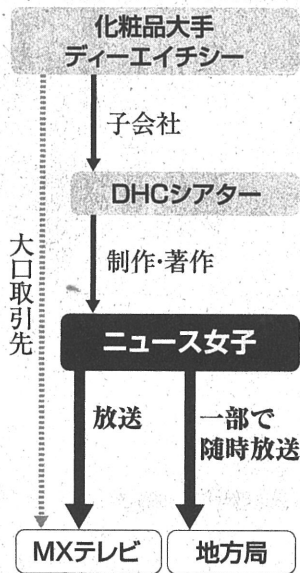
問題になっている番組「ニュース女子」を制作したのは化粧品大手ディーエイチシーの子会社「DHCシアター」。同社は20日、サイト上で浜田麻記子社長と番組チーフプロデューサー名義の見解を公表した。基地に反対する人たちへの取材をしていないと批判

「ニュース女子」1月2日の放送



沖縄県東村高江の米軍ヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）建設への抗議活動などを取り上げた。「反対運動の連中」「テロリストみたい」と表現したり、人権団体が交通費相当の金銭を支給して現地の様子を発信する「市民特派員」を募ったことについて「5万円日当」などと伝えたりした。

番組制作や放送の関係図



「ニュース女子」は東京ローカルのMXテレビで毎週月曜に放送されるほか、一部の地方局が別の時間帯に随時放送している。地方局の中には、問題の回の放送を見合わせることも出てきた。

見合わせる地方局も

「ニュース女子」は東京ローカルのMXテレビで毎週月曜に放送されるほか、一部の地方局が別の時間帯に随時放送している。地方局の中には、問題の回の放送を見合わせることも出てきた。

日本テレビ系列のミヤギテレビは、放送前に番組内容をチェックする「審査」をした結果、放送をやめた。放送法4条は、意見が

MXテレビは27日、「調査・確認を進めており、2月10日開催のBPO放送倫理検証委員会に報告する。同紙は今年7月、20、25日の朝刊で番組の問題を大きく報じたが、いずれも長谷川氏が司会であることに触れ

朝日新聞の取材に対し「放送前の」チェックが甘かった」と認めた。「あの番組で今までの同じ主張を続けるということはあり得ない。杜の姿勢として厳正に（チェックを）やっていく」という。